

甲斐市立 竜王西小学校 自己評価書

令和 3 年 1 月 29 日 (金) 作成

校長 「 新海 淳 」 記述者 職名 (教頭) 「 大石 浩雄 」

学校教育目標
「 自ら学び, 自ら考え, 進んで行動する 心豊かでたくましい児童の育成 」

学校経営方針

「 21 世紀を担う人間性豊かで, 社会の変化に対応できる生きる力の育成 」 をめざし,
学校教育の充実に努める。

- (1) 確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた教育活動を推進する。
- (2) 全ての子どもたちが, 「わかる」・「できる」ことが実感できる, 楽しい授業づくりをめざす。
- (3) 全職員の協働体制「チーム竜西小」の教育活動を推進する。
- (4) 家庭・地域と信頼し合い, 安全で安心な開かれた学校づくりに努める。

1 全体評価

○教職員アンケートから, 学教教育目標の具現化に向けて, やるべき教育活動を, まじめに一生懸命に, チームとして取り組んでいる。危機管理や生き方教育に関しては今年度新たにに取り組むべき課題があり, 教職員が対応や指導に戸惑いを感じている様子が伺えた。○児童アンケートは, 肯定的な回答が多く, 昨年度より多少の増減はあるが, 学校生活を楽しく有意義に過ごしている様子がわかる。○保護者アンケートでは, 各質問とも肯定的な回答が多く, 自分子どもが, 楽しく学校生活を送っていると思っていることや生活習慣にも関心が高く指導している様子がわかる。○今年度新しくなった創甲斐教育に関わる数値目標については, 「国語の授業がわかる」差-1.1% 「将来の夢や希望を持っている」差-8.1%, 「今住んでいる地域の行事に参加している」差-14.2%, 「校務支援システムを十分に活用している」差+10%達成, 「児童生徒のいじめ解消率を 100%に高める」差-9.5%, 「年間 20 回以上きずなの日実施」現在 18 実施, あと 3 回実施予定で達成という状況である。目標達成までにわずかなものと差があるものがあるが, 今後, 数値目標を達成するための方策を工夫しながら, 組織的な教育活動を推進していきたい。

2 項目ごとの評価結果 (達成状況・改善策)

I 学校教育目標に関して・学校経営について

達成状況	肯定的な評価が 100% である。全職員が学校教育目標や重点目標を踏まえ教育活動を行ったと言える。昨年度課題であった P→D→C→A サイクルを生かした教育活動について改善が図れた。課題としては, 今後も P→D→C→A サイクルを生かした教育活動を維持, 向上させていくことである。
改善策	学校行事や学年行事等多くの児童や保護者・教職員が関わる活動において行った P→D→C→A サイクルを継続するとともに, 日常の授業等に関しても P→D→C→A サイクルを意識した指導計画や教育活動計画を意識的に行うことを人事評価制度や校内研を活用しながら推進していく。

II 学校運営について (保護者用アンケート等も含めて)

達成状況	肯定的な評価が多く, 「安全点検 (整備・保全)」「他の教職員との相互理解や信頼関係」「報告, 連絡, 相談, 確認」に関しては特に高かった。保護者用アンケートからも, 学校との連携・協力について肯定的である。課題としては「危機管理の理解」「校務支援システムを十分に活用する」は他の項目と比べ B 評価が多くなっている点である。
------	--

改善策	B 評価から A 評価へ変化するポイントは主体性であると考え、コロナ対応を含めた危機管理や校務支援システムの利用について研修の機会を積極的に設けること、ひとりひとりが主体的に関わることができるよう研修内容を工夫していく、それぞれの場面で必要とされる水準を明らかにして到達した場合は積極的に認めることを推進していく。
Ⅲ 学習指導について （児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	学習指導全般で、意欲的な教育活動が推進されている。「モジュールの時間の有効活用」が課題である。児童、保護者アンケートは「授業は楽しい、よくわかる、熱心に授業に取り組んでいる」と良い評価である。
改善策	モジュールの時間の学習内容について、定期的に振り返り、到達度や定着度についてテスト等わかりやすい形で確認をすることを全校取り組むようにしていく。モジュールの時間も含め授業において学習内容ごとの P→D→C→A サイクルを意識し教育活動を推進する。
Ⅳ 生徒指導について （児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	生徒指導全般について、肯定的な回答が多く、教職員は意欲的に取り組んでいる。生き方教育（キャリア・進路教育）については昨年度に比べ評価が低くなっている。感染症対策指導に高い意識で教職員が取り組んでおり、保護者も学校は感染症対策に力を入れていると90%以上が肯定的に捉えている。児童については手洗いや消毒はきちんとしている一方で距離を取ることにについては課題が残った。
改善策	教育課程の中でキャリアに関わる学習について見直しを行い、キャリアパスポートとの関連について確認をする。休み時間などを中心に仲間との距離について意識できるような取り組みを仕組む。
Ⅴ 地域との連携について	
達成状況	課題であった保護者や地域への広報については改善が図れた。保護者の PTA 活動や家庭における学習指導、生活指導への協力が向上した。地域の人材や施設を教育活動にいかす指導は、コロナの影響を受けた部分があるとはいえ評価が低下傾向にあり課題である。
改善策	コロナ禍ではあっても、いきいき人材の活用、読み聞かせボランティア、外部からの講師の招聘等できるだけ実現できるように方法を工夫する。HP や通信、学校開放日については今後も継続していくと同時に教員の働き方との関連も配慮していく。
Ⅵ 学校の特色に関して	
達成状況	どの項目についても良い方向に評価が変化しており、特色ある学校づくりが着実に進められている。特に授業参観や学校開放については厳しい状況の中でも工夫してできる限り実施することができた。あいさつについても、校長を先頭に教職員、児童会、保護者が協力して取り組み改善が見られた。
3 まとめ	
<p>〈成 果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果は、肯定的な結果となり概ね良好だと考えられる。保護者や地域の方々のご理解ご協力、市教委のご支援のおかげと感謝している。引き続き、「チーム竜王西小」として、組織的な教育活動を行っていきたい。 <p>〈課 題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの回答で、否定的な評価をしている児童の存在には十分留意し、保護者、地域、関係機関との一層の連携を図りながら、個別の指導・支援を行う必要がある。社会や保護者の価値観が多様化する中、竜王西小としての方針を明確にし、理解してもらうことをベースにして、保護者や地域とともに学校教育目標の実現を目指していきたい。 	

